

登戸地区の津久井道とは

～まちへの誇りと愛着を持ちつづけ、後世にまちの記憶として残していくために～

歴史

○津久井道は、津久井地方から市内では、柿生・高石・生田・登戸周辺を通り、産物等を江戸へ運ぶ流通の道として、多くの商人や職人などの往来があり、そこに、商店（下駄、提灯、畳、馬具等）、居酒屋、宿屋が軒を連なるようになることで、賑わいや交流など活気に溢れていた。

津久井道キーワード

- 登戸の渡し ●柏屋 ●善立寺 ●小泉橋 ●職人の町 ●流通の道 ●宿場町 ●登戸宿

区画整理後の登戸のまち



登戸の渡し

○昭和28年に多摩川水道橋が完成するまで橋がなく、川崎と東京を結んでいたのが渡し船で、多摩川の下流から、六郷、矢口、丸子、二子、登戸、菅にあった。多摩川水道橋は東京へ水を送るためにできた水道との併用橋で、この橋の完成とともに、登戸の渡しは廃止となった

柏屋

○柏屋は、旅人を泊めるやどやの老舗であり、明治の末頃から料理屋を兼ねるようになり、多摩川行乗客にナマズ料理を振る舞い、喜ばれていた。

善立寺

○明治5年に明治政府より「小学教則」が發布されると、翌年、登戸学舎として本堂で小学校教育をスタートさせたという、小学校教育の発祥の場所である。

小泉橋

○徳川家康の命によって造られた多摩川水系最古の農業用水路「二ヶ領用水」に架けられた橋。小泉橋は、天保15年に小泉利左衛門によって木造の橋から石造りの橋に架け替えられた。板だけの粗末な橋であったことから、石橋ができたことに、花火をあげ、お祭りをの山車を出し、まんじゅうを配るなど、多くの人が喜んだ。明治34年に小泉弥左衛門が石橋を修築、拡幅した。その後、昭和の戦前期にコンクリートで補強・拡幅された。当時は、津久井街道と府中街道が交差するあたりは榎戸と呼ばれ、商業の中心地で、乗合馬車の駅や、銀行、大きな商店などが多く集まるなど、繁華な場所であった。その後、銀行は小田急線の開通にあわせ、駅の方へ、今の商業の中心に移っていった。

職人の町

○江戸時代より登戸は多摩川の下流にあり、平地が狭く1軒あたりの田んぼが狭く、米造りだけでは生活できないため、色々な仕事をしないといけなかった。多くの人が、農業をやりながら職人としての技術を持っていた。仕事で街道を通る人が壊れたものを持ってくと帰りまでに直すという仕事ぶりであった。特に、下駄職人が多く、下駄造りが盛んであった。江戸時代には100メートルで14軒もあった。下駄を売る店というより自分で木をけずって下駄を作る手工業といった方が良かった。登戸の人々は下駄の材料となる桐の木を方々に植え、作った下駄を津久井道を通り、江戸へ運んだ。

流通の道

○江戸時代に様々な産物が江戸に向かって出荷されており、津久井地方で生産される絹や、麻生地区の特産品である禅寺丸柿や黒川炭が運ばれるなど、津久井道は重要な役割を果たしていた。津久井地方（相模川など）で採れた鮎を江戸までいち早く運ぶため津久井道が使われていた。

宿場町

○近隣の産物を江戸へ運ぶ流通の道、商人や職人の往来する道として使われ、多摩川を渡る前に人々や荷をつけた馬が一休みするなど、登戸は宿場町として栄えた。

- | | |
|------------|---------------|
| 1・吉沢石店 | 20・玉川樓(旅館) |
| 2・橋田屋(問屋) | 21・石橋酒店 |
| 3・梅屋染物店 | 22・やきいも屋 |
| 4・秋葉左官 | 23・池田屋兵衛店 |
| 5・小泉左官 | 24・加登屋下駄店 |
| 6・玉川屋敷(問屋) | 25・倉羽屋(旅館) |
| 7・井上水車店 | 26・井上くら店 |
| 8・上州屋(旅館) | 27・こけそば屋 |
| 9・小出 | 28・武蔵屋(下駄) |
| 10・厚島小問物店 | 29・井出又兵衛(給かき) |
| 11・柏屋(旅館) | 30・かご屋(竹細工) |
| 12・新柏屋(安官) | 31・大津屋(問屋) |
| 13・小泉左官 | 32・井出家(染紙) |
| 14・こうや(染物) | 33・上田先生(私塾) |
| 15・小泉左官 | 34・高木書家 |
| 16・元木左官 | 35・三宮会館(丸山社) |
| 17・池田左官 | 36・伊藤竹店 |
| 18・佐藤左官 | 37・伊藤屋(馬具) |
| 19・手塚下駄屋 | 38・伊藤兵衛店 |
| | 39・渡川しょうゆ店 |



明治時代の登戸のまち

- | | |
|--------------|----------------|
| 40・吉田茶店 | 59・仕立屋 |
| 41・井上かご店(車屋) | 60・菓子屋 |
| 42・石田おけ店 | 61・ふさいや |
| 43・農家 | 62・たけ屋 |
| 44・吉田たみ屋 | 63・すすきまんじゅう店 |
| 45・鎌倉屋 | 64・たけ屋 |
| 46・焼つき店 | 65・松本屋(旅館) |
| 47・井上紙工場 | 66・とうふ屋 |
| 48・榎屋染物店 | 67・すし屋 |
| 49・たみ屋 | 68・せんべい屋 |
| 50・太田車屋(自転車) | 69・学校・森田屋(旅館) |
| 51・森田いかけ屋 | 70・馬力 |
| 52・土方時計店 | 71・馬宿(田口) |
| 53・榎屋染物店倉庫 | 72・紙屋 |
| 54・紀伊屋(旅館) | 73・野村魚屋(川魚) |
| 55・金物店 | 74・珠数屋 |
| 56・米田屋(旅館) | 75・広島屋(丸山せんべい) |
| 57・紺屋染物店 | 76・吉田旅館 |
| 58・橋場めし屋 | 77・長沼旅館 |



出典：稲田郷土史会

稲田登戸駅 (S2)



出典：稲田郷土史会

向ヶ丘遊園駅 (S2)



出典：稲田郷土史会

JR登戸駅(S2)



飯室山より登戸方面を望む (S2)

出典：稲田郷土史会



津久井道 登戸の街並み (S45)

出典：稲田郷土史会



登戸の渡し (S2)

出典：稲田郷土史会



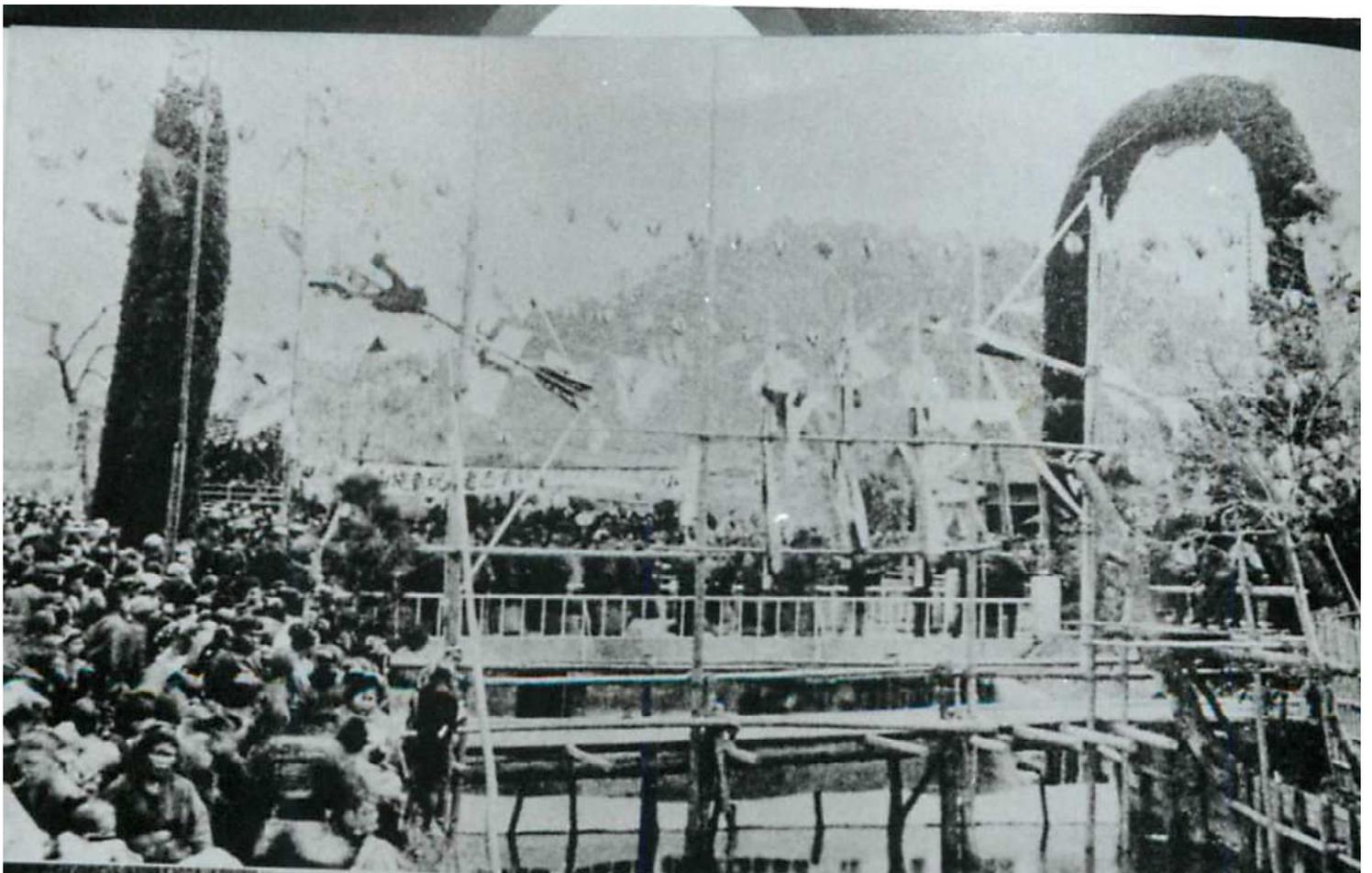
登戸の渡し (S2)

出典：稲田郷土史会



出典：稲田郷土史会

橋本屋酒店と小泉橋 (S2)



出典：稲田郷土史会

改修された小泉橋 渡り初め (M34)



出典：稲田郷土史会

東通り商店街 (S63)



出典：稲田郷土史会

東通り商店街 (S55)



出典：稲田郷土史会

紀伊国屋 (S2)



出典：稲田郷土史会

伊藤左官工業所 (S63)



出典：稲田郷土史会

多摩川梨 (S2)

問い合わせ先 川崎市まちづくり局登戸区画整理事務所
加茂 044-933-8581

*すべての写真について二次使用を禁止します